

私のカルテ

No. 4 0 0

津島市民病院
脳神経外科医師木村
啓佑

突然死を避けられる!? 脳ドックを受けよう!!

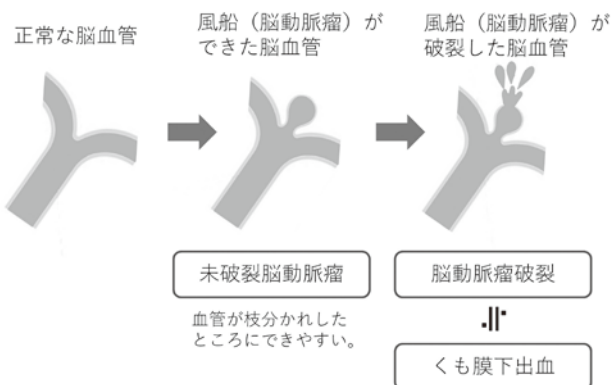
脳ドックって何?

脳ドックとはMRI装置を使い、脳や頭の中の血管に異常がないか調べる検査です。加えて血液検査や頸部超音波検査も施行します。

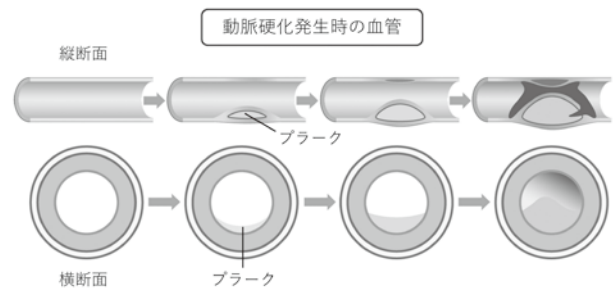
脳ドックでわかること

①**脳腫瘍** 脳の中にできる腫瘍です。小さいうちは症状がありませんが、大きくなると、頭痛、ろれつが回らない、歩けなくなる、痙攣など様々な症状が出現します。小さいうちに発見することにより、治療ができ、進行を遅らせたり完治できる可能性があります。

②**脳動脈瘤** 頭の中の血管にできる「コブ」です。ほとんどの場合、存在するだけでは症状はありません。しかし動脈瘤は壁が薄く、破裂しやすいため「くも膜下出血」の原因となります。くも膜下出血は突然死のリスクとなり、発症すると3人に1人が亡くなります。くも膜下出血で治療がうまくいき、命が助かったとしても後遺症が残り寝たきりの生活になってしまう可能性もあります。破裂する前に治療を行うことでくも膜下出血を防ぐことができます。特に血縁関係者でくも膜下出血の方がいる場合は注意が必要です。



③**脳血管の動脈硬化** 脳を栄養する血管の壁にコレステロールなどが蓄積し、血管が細くなります。血管が細くなると脳への血流が少なくなり、脳梗塞を発症します。脳梗塞により壊れてしまった脳細胞は復活しません。そのため、麻痺などの後遺症が残ることが多いです。特に喫煙、高血圧、高コレステロール血症、糖尿病などをお持ちの方は注意が必要です。



当院での脳ドックの流れ

Step1 電話で予約をする

〈市民病院健康管理センター〉

☎28-5151(代表)

Step2 予約日に検査を受ける

Step3 検査から1カ月以内に検査結果が届く

→ここでもし異常があれば当院脳神経外科または脳神経内科受診を!

詳しくはこちら

🌐<http://www.tsushimacity-hp.jp/raiin/annai.html>

まとめ

脳細胞は一度ダメージを受けると回復することが困難です。そのため後遺症が残る寝たきりになると、介護が必要な状態となります。若い方では40代でくも膜下出血や脳梗塞を起こすことがあります。ご自身、ご家族のためにもぜひ一度、脳ドックを受けてみてはいかがでしょうか。